

お米で幸せ

上越市立清里小学校 六年 増田 稟世

ぼくの住んでいる地いきでは、田んぼで稲
文学作りをしています。今年の文学は、「米
はいのち」です。

五月に田植えをしました。田んぼは、気持
ち良いような、気持ち悪いような、なんとも
言えない感じよくで、ぼくは結構好きです。

苗を植える時は、後ろに下がりがら苗をい
まないように注意して植えていきました。小

さいころからやっているの、

「植えるの速いね、上手だね。」
などと、ほめてもらいました。

田植えが終わり、次はみんなから粉焼き
を食べました。今年はおばあちゃんが老人会
で初めてから粉焼きを作りました。いつもは
白いけど、今回は少しピンク色で、すごく美
味しく感じました。

「ひたしておいた米をすずりばちでよくすお
て、少し砂糖を入れて、だんごにして焼くと

だよ。とおばあちゃんがから粉焼きの作り方を教えてくれました。家でも作って、みんなでおなかいっぱい食べたいです。

夏休みに、田んぼへ見に行きました。観察台へ上がって「米はいのち」の文字を見ると田植えをした時と比べ、はっきりと見えてがっしりとしていました。近くでよく見ると、小さくて白くてかわいい花が咲いていました。

秋になると稲刈りをします。ぼくは稲を刈る時の、あのザクツツという感じが手ごたえがあったて好きです。なのび、どんどん稲を刈っていきます。つかれるけど、みんなと一緒に刈れるし、楽しいです。ぼくは稲を刈ることは得意だけど稲刈りはまだできません。ぼくのおばあちゃんは稲刈りのプロです。稲の束をぐるっと一回転させながらどんどん丸げていきます。格好いいのでぼくも早くできるようになりたいです。

稲刈りが終わると、おにぎりがもらえます。

ごま塩おにぎりとかゆかりおにぎりとかつけ物です。そのちよつとのつけ物がまたおにぎりとか合つてずつと食べられるぐらい美味しいです。

小学校でも稲文字作りをしています。今年は一幸という文字です。全校のみんなと一緒に田んぼに入るので楽しいです。でも大変なこともあります。例えば草取りでは、たおれている稲をかき分けながら雑草を取る作業が苦勞しました。他にも、はさかけは面白そうだけど、実際にやってみると、稲の束を何十束もかけるのは、重くてとてもつかれました。

今年小学校では、今までのお米の売上金で福祉施設に車いすを寄付しました。喜んでもらえようねしくなりました。お米で、福祉施設のおじいちゃんおばあちゃんに役立てて、みんなを幸せにできることが、素晴らしいなあと思いました。

これからまず、お米と幸せを作りたいです。